

令和四（2022）年度生 一般入学試験（前期） 国語総合

※ 答えはすべて解答用紙の決められた欄に記入しなさい。

問題一 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

受験番号	氏名

今日の時代のトク¹チヨウの¹一つは、人間と社会に関する科学的な知識の増大ということである。それにもかかわらず、人間についての科学的知識には、重要な点に不明のところが多く、その知識を総合して全体としての人間を理解することはむずかしい。他方知識の増大は、科学的な方法により、科学的方法是、分析的であつて、知識の細分化をもたらず。その意味では、知識の増大の故に、その総合がむずかしいともいえる。また、そもそも科学的方法是は、観察するものと観察されるものとの分離²をゼンテイとして、したがつて人間を観察するときには、人間を対象化する。

しかるに実際の人間が生きてゆくためには、自己・他人・社会の部分的なソクメン³に対してではなく、その「全体」に対して絶えず態度を決定しなければならない。すなわち人間的な現実の「全体」を総合的に理解することが、必要である。しかも人間が人間の全体を理解しようとするコウイ⁴においては、観察するものが同時に観察されるものであり、その場合の人間は単に対象ではなく、対象⁵主体であるほかはない。そういうことが、科学的知識の可能性とは別に、いわば人生の必要としてある。しかし、必要な仕事は必ずしも可能な仕事ではない。

サルトル^{注2}の仕事の独創的な意味は、哲学を人間の「全体」に関する学として定義することにより、そのよ⁷うな人生の必要に応えようとした点にある。知的な事業としての哲学は、科学から遠ざかれば遠ざかるほど文学に近づく。サルトルの劇が哲学的で、哲学が劇的であるのは、そのためであり、彼の体系が時代の悲劇的な構造を鋭くハンエイ⁵するのもそのためである。

（加藤周一 『言葉と人間』）

注1 この評論が発表されたのは1980年

注2 20世紀のフランスの哲学者・文学者 ノーベル文学賞を受賞を初めて拒否したことで知られる。

問一 傍線部1～5のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 波線部「・」はそれぞれ、文中で何という二字熟語に置き換えられていますか。

問三 傍線部ア「そのような人生の必要」とはどういうことですか。「～こと」「～という形になるように、文中より20字の部分抜き出し、初めと終わりの4文字を答えなさい。（句読点記号も1字と数える）

問四 傍線部イ「時代の悲劇」を説明した次の文章の空欄に、後のア～キの語群より最適な語を選んで入れ、記号で答えなさい。

「時代の悲劇」とは、今日、科学的知識は 1 したが、科学は 2 的で、 3 化しており、人間が生きていく 4 を 5 的に理解することが出来ないということである。

語群 ア総合 イ分析 ウ現実 エ対象 オ増大 カ減少 キ細分

（裏面へ続く）

問題二 テニスの大阪なおみ選手が、2021年5月末、全仏オープン第1試合快勝の後、記者会見を拒否した翌日の、朝日新聞の天声人語の次の記事を読んで、後の問いに答えなさい。

正直言うと、大阪なおみ選手が記者会見に出ないというニュースを耳にした時、プロなのに甘いのではないかと思っただ。

人前で質問を受けることもトップ選手のセキムではないかと。そして一夜明けて飛び込んできたうつ病の
コクハクである。²

そこで感じたのは、病気であれば仕方ないということだった。しかしよく考えてみれば、³「どちらの反応も問題」フクみである。「甘えている」「みんなやっていることなのに」という周囲の視線が、心の不調を抱える人をどれほど追い詰めることか。

¹病気なのだからと思いを止めるのも、コインの裏表であらう。

大阪選手は大会の棄権を選んだ。いまは心身を休めてほしいと願いつつ、他の道はなかっただろうかと思えてしまう。

彼女のSNSから伝わるのは、競技には力を尽くしたい、しかし記者会見のフタンは軽減したいという思いだ。従来のルールにとらわれず、下ろせる荷物はないかと考えてみる。スポーツに限らず、どんな職場でも必要なことではないか。誰もが力をハッキする⁵ためにも。

棋士の先崎さんは、うつ病で将棋界を一時離れたことがある。その時の様子を書いた『うつ病九段』によると「将棋界の中にもう自分の居場所がない」「自分の場所にはモドれない」と思いナヤんだという。

つらかったのは物事を悪い方に悪い方にと考えてしまうこと。一番うれしかったのは、将棋仲間から「みんな待ってます」と言われたことだった。大阪選手をコートで見られる日をゆっくりと待ちたい。

問一 傍線1～7のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 波線部ア「どちらの反応」とは、それぞれどういう反応ですか。くという反応。と言う形になるように、文中より10～15字の表現を二カ所抜き出しなさい。

問三 波線部イについて答えなさい。

① 「病気なのだからと思いを止める」とありますが、どのような思考を止めるのですか。その一例となる1文を文中より抜き出し、初めと終わりの4文字を答えなさい。(句読点も1字と数える)

② コインの裏表とありますが、これは

「どちぢぢも」I (を) II (ことに変わりはない)。

ということを喻えて言っています。(内に、I・9文字、II・5文字の、文中の語を補いなさい)。